

< 企業の人事・教育ご担当の皆様へ > 計算力学技術者資格のご活用のお願い

一般社団法人日本機械学会
イノベーションセンター

本会において2003年にスタートした計算力学技術者資格認定事業では、FEMソフトの結果を正確に判定して設計ミスによる製品事故を防ぎ、安全な製品を開発するという大切な役割を担う「計算力学技術者」の資格を認定しております。

製品の品質を保持するためには、設計の段階において正しい解析結果を得ることが何よりも重要となり、そのためには解析を行う人材が高い能力を有することが要求されます。本資格における最大の価値は「人材の品質を保証することにより、解析結果の信頼性を裏付けることが出来る」というものです。この「解析のスペシャリスト」という切り口において、国家資格の「技術士」とは異なる新しい資格となっています。また、2010年度までに約3,000名の有資格者が誕生しており、現在、3つの業界団体(社団法人日本機械工業連合会、社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本電機工業会)からの後援、その他多数の学協会の協賛を受けており、日本のものづくりを担う企業及び技術者にとって注目の資格として定着しています。

この資格を取得することにより、技術者は自身の技術レベルやキャリアの裏づけとすることが可能となります。また、企業にとっても自社の業務品質保証となることは勿論のこと、技術者の採用や業務のアウトソーシングの際に、人材のレベルを測る尺度としても活用することが出来ます。これらのことにより、企業イメージを致命的に損なう製品事故等のリスク軽減に繋がります。

企業の皆様におかれましては、社内技術者の継続教育に、また人材の採用・育成時の指針の一つとして、本資格を是非ご活用頂きますようお願い申し上げます。